

## 2024年度 関私教協 第10回幹事校会議事録

1. 日時：2025年1月27日（月）18:30～20:10

2. 形態：オンライン会議

3. 出席者：

【幹事】高瀬 幸恵（桜美林大学・事務局長）、尾高 進（工学院大学・事務局次長）、  
岡田 佳子（芝浦工業大学・事務局次長）、  
山下 暁子（青山学院大学）、黒住 早紀子（駒澤大学）、  
青木 研作（東京成徳大学）、河野 誠哉（東京女子大学）、  
木之下 健一、須藤 和代（目白大学）、白石 一徳（文化学園大学）、  
下地 秀樹〔森田 満夫代理〕（立教大学）、斎藤 遼太郎（茨城キリスト教大学）、  
北村 篤司、横澤田 朋美（昭和音楽大学）、小澤 真紀（芝浦工業大学）、  
福山 多江子、古橋 真紀子（東京成徳短期大学）

【事務担当】岩井 瑞恵（桜美林大学）

【オブザーバー】古賀 毅、山崎 恭輔（千葉工業大学）、  
佐藤 千津、藤木 裕子、渡邊 薫子（国際基督教大学）、  
鵜殿 篤（東京家政大学）、佐藤 英二（明治大学）、  
五所 法子〔山本 由美代理〕（和光大学）、  
清水 由、三浦 和真（桐蔭横浜大学）、黒岩 友見子（桜美林大学）

4. 幹事・新幹事の自己紹介

5. 2024年度第9回幹事校会議事録の確認

高瀬事務局長より、第9回幹事校会議事録（案）が示され、これを承認した。

6. 協議

【報告事項】

(1) 研究部の活動について

- ・第1部会：第2回目の会合を11/24（日）に実施した。教育実習ならびに学校体験活動の現状と課題をテーマにオンラインで意見交換と全体共有を行った。14名の参加であった。次回はアンケートを用いて詳細に検討する。3月にハイフレックスで実施する予定である。
- ・第2部会：11/28（木）に第3回の会合をオンラインで19:00から実施した。参加者は9名であった。教職課程の組織運営に生かすための学生の実態調査アンケートの開発をテーマとして研究を進めている。2月か3月に次回の会合を実施する予定である。
- ・第3部会：副部長が不在の状態となっていたが、高千穂大学の鈴木隆弘先生にお引き受けいただくこととなった（第3部会で承認）。これに関して、鈴木先生に委嘱状を発行することと、役員大学担当表の更新をお願いしたい。1/23（木）18:30からオンラインで会合を実施した。参加は10名であった。内容は、教員採用試験の早期化・複線化に関する取り組みについて、教職カリキュラム改革を進めている大学の情報共有を行った。第4回は3月に対面で芝浦工業大学を会場として実施する予定である。
- ・第4部会：1/25（土）16:00から東京成徳短期大学にて部会を開催した。合理的配慮を要する学生への対応（特に実習）について、オンライン授業の有無や使用頻度について、学生募集についてどのような工夫をしているのかについて情報交換を行った。参加者は対面8名、オンライン3名であった。次回は3/15（土）に帝京短期大学で実施する予定である。
- ・第5部会：特になし。
- ・第6部会：11/19（火）にオンラインで研究会を実施した。9月に開催したテキストマイニングを専門とする荒尾貞一先生の講演に続き、その第2回目としてデータ分析についての講演をもらった。また、1/24（金）にオンラインで研究会を実施した。5～6名の参加であった。来年

度に介護等体験中におけるハラスメントの学生意識調査を実施したいと考えており、そのアンケート項目の検討を行った。3月か4月にアンケート調査を事務局に依頼する可能性がある。

- ・第7部会：1/22（水）に部会をハイフレックス形式で開催した。明星大学の藤枝充子先生を招き、明星大学の教育インターンシップを中心に教職課程のあり方について話してもらった。次回は3月に行う予定である。
- ・第8部会：第2回研究会を11/2（土）に実施した。「同部会の成果と課題」（竹内久頭先生・東京女子大学）をテーマに振り返りを行った。それを受けて、他部会との発展的統合案を性急に進めるよりは、これからの教員養成制度に関する問題提起的な、さらなる検討を進めることにした。現時点では、以下の三つのテーマ・報告者で進めることで調整中。日程は2月後半から3月初旬を予定している。
  - ①（仮）「（教師教育実践者の立場から）教師教育実践から考える再課程認定の脱構築—福祉科を中心に—」（田村真広先生・日本社会事業大学）
  - ②（仮）「（教職課程認定申請経験者の立場から）最近の教職課程認定をどう捉えるのか?」（大島宏先生・東海大学）
  - ③（仮）「（教育行政学研究者の立場から）教員養成制度の現在をどう捉えるのか—私立大学を中心に—」（福嶋尚子先生・千葉工業大学）
- ・千葉・茨城地域：第2回の研究会を2/21（金）に実施予定である。
- ・神奈川・山梨地域：2/22（土）に協議会を実施する予定。テーマを、教員採用の早期化・複線化と教員養成質保証との関連として講師を招いて実施する。
- ・北部地域：特になし。

#### (2) 2024年度研究懇話会について

- ・高瀬事務局長より、昨年12月14日に開催された研究懇話会について資料に基づき報告があった。参加者は99名（対面36名、オンライン63名）であった。

#### (3) 『会報』第97号の編集について

- ・河野広報副部長より、資料に基づき『会報』第97号の編集スケジュールについて報告があった。近日中に執筆者に依頼を発信する予定である。
- ・北村広報部長より、1/21にオンラインで広報部部長・副部長、事務局、未知の駅で打ち合わせを行い、今後の編集方針として、会則については毎号末尾に掲載すること、輪番表については定期総会の記録を掲載する偶数号に掲載することを決定したことが報告された。

#### (4) 幹事校会の日程について

- ・高瀬事務局長より、資料に基づき2/17（月）と3/24（月）に幹事校会が開催されることについて報告があった。3/24（月）の幹事校会はハイフレックス形式（会場は工学院大学新宿キャンパス）とし、終了後に参加可能な幹事およびオブザーバーを対象として慰労と情報交換を目的として食事会を持つ予定である。参加者一人につき5,000円を関私教協の予算より支出する。2025年度のスケジュールについては、月曜日に幹事校会の予定を入れてあるが、調整可能である。ただし、4/21（月）と5/11（日）の幹事校会の日程は確定としたい。
- ・5/11（日）は関私教協定期総会、5/17（土）-18（日）に全私教協定時社員総会・研究大会が予定されている。7月と12月の関私教協研究懇話会の日程については2月の幹事校会で決定したい。

#### (5) 活動費の精算について

- ・事務局より3月末までに活動費の精算をお願いしたい旨の報告があった。出納簿のファイルを1/17に担当者に送信した。具体的なことについては改めてメールで連絡をする。

### 【審議事項】

#### (1) 2025年度幹事校・世話人の体制について

- ・高瀬事務局長より、資料に基づき次期体制について説明があった。新幹事は研究部、広報部のいずれかに所属すること、事務局次長（准教授以上）・研究部副部長・広報部副部長を決定すること、各部会の世話人を決定することについて説明があった。2月の幹事校会までに決定したいので、事前にアンケートを取ることにする。フォームを送るので2/7（金）までに回答してほしい旨依頼があった。

- (2) 2025 年度定期総会・合同研究大会への準備について
- ・高瀬事務局長より、ハイフレックス形式を用いて二松学舎大学で行われる予定であることが報告された。1/28（火）に東教協と打ち合わせを行う。
- (3) 未加入校への呼びかけについて
- ・高瀬事務局長より、資料に基づき説明があった。未加入校一覧を確認し、勧誘をすべき短大・大学があれば2月の幹事校会で知らせてほしい旨の依頼があった。引き続き検討する。
- (4) 『関私教協 30 年の歩み』 配付について
- ・高瀬事務局長より、『関私教協 30 年の歩み』の配付方法について提案があった。現在 50 部配付できる在庫があるため、オンライン参加者および会員校宛てにメールで希望を募り、先着順に 50 部を配付する。これを承認した。
- (5) 関私教協研究懇話会の記録について
- ・高瀬事務局長より、全私教協常任理事会に関私教協研究懇話会の記録を提出することについて説明があり、これを承認した。

**【配付資料】**

- 資料 1 : 2024 年度 研究懇話会開催報告
- 資料 2 : 『会報』 第 97 号編集スケジュール表
- 資料 3 : 2024 年度 関私教協幹事校会日程
- 資料 4 : 2025 年度 関私教協役員大学担当表
- 資料 5 : 2025 年度 幹事校会開催日程案
- 資料 6 : 未加入校一覧

以上